

## 自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専修学校麻生ビューティーカレッジの自己点検・評価活動の結果を記したものである。

# 自己点検・評価 報告書

専修学校 麻生ビューティーカレッジ

平成28年 5月 1日

校 長 林 宏 治

自己点検・評価責任者

校長代行 渡辺 博明

### 目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 5 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5	学生支援	- 8 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7	社会的活動	- 11 -
基準 8	管理運営	- 12 -
基準 9	財 務	- 14 -
基準 10	改革・改善	- 15 -

平成27年度  
(2015年度)

### 評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する (不適合)

## 基準 1 理念・目的

### 項目総括

内部、外部へ向けて、ともに共有される仕組みとなっている。ただし、建学の精神・理念については、HP上に更にわかりやすく外部へ向けて発信する必要がある。

### 主な課題及び改善の方向性

HPの改善

### 中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像は、明文化し社会に公表しているか。  
理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

内部、外部へ向けて、ともに共有される仕組みとなっている。ただし、建学の精神・理念については、HP上に更にわかりやすく外部へ向けて発信する必要がある。

### 小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

教職員に対しては、毎年実施されるキックオフ時に共有されている。外部へ向けては、ホームページ(ASOの考え方)あるいは、入学生募集用パンフレットでうたっている。昨年度からは特待生制度や東北みらいプロジェクトを整備し、学びたい若者を支援する体制を整えた。

### 小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

新入生オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時、また始業式、終業式において徹底を図っている。教職員においては、毎朝の唱和、また平成 28 年度は目指す学校像の整理を図った。

### 小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

毎年キックオフへ向けて次年度方針を立案する折に、見直し確認を行なっている。

### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

明文化されたものを整備している。

### 小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

HP上(情報公開)にて公表している。

### 小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

教員は必要要件にあった教員を配置している。施設設備は、必要要件は確保しているが、毎年見直しをはかり追加すべきものは時代にあわせ、検討を図っている。

## 基準 2 教育の内容

### 項目総括

カリキュラムやシラバス、授業アンケート等の環境整備はできているものの、その内容等に関する定期的かつ計画的な検証や改善が不十分である。

### 主な課題及び改善の方向性

今年度中に授業内容および実施方法等の検証および見直しを図るための組織を編成し、定期的かつ計画的な改善がなされる取り組みを開始する。

### 中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

カリキュラムおよびシラバス等の作成はできているが、教科間の整合性を図った定期的な検証・見直し等までは実施できていない。

### 小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

求人先の企業を中心にアンケートを実施し、欲しい人材の条件や身に付けてほしい能力などのニーズを収集、また職業実践専門課程の教育課程編成委員からも業界の新しい流れや取組を参考にカリキュラムの見直しを図り、パンフレットやオープンキャンパス等で発信している。

### 小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

カリキュラムは学生便覧に記載し、配布、周知している。コマシラバス、シラバスも作成し、シラバスは授業開始時に担当教員から学生に説明を実施している。

### 小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

規程通りに年に2回教育課程編成委員会を開催し、業界のニーズを収集しカリキュラムの見直しに反映している。また就職課や広報からの意見も参考にし、時代の流れに合ったカリキュラム作成を心掛けている。

### 小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

担当教員によるシラバス作成はできているが、他の科目のシラバスを教員間で共有したり、整合性の検証まではできていない。

### 中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

授業アンケートは実施し、結果のフィードバックまではしているものの、その後の授業観察や研修等の計画的な改善が不十分である。

### 小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

授業アンケートは定期的に行ない、結果はフィードバックしているが、計画的な授業観察や研修等は実施しておらず、随時の実施にとどまっている。

## 小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果: B

■コメント

授業改善委員会は設置していない。授業改善に向けて相互見学や相互評価を実施しているが組織的取組みには至っていない。

## 小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果: B

■コメント

年間計画、長期計画は実施しておらず、随時研修等の案内に応じて実施している。研修費等の予算額が限られており、外部への研修については限定的なものになっている。

## 中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取組みがされているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

入学後に基礎学力テストは実施しているものの、入学前の教育等は実施していない。その代りに入学後では学期末試験等の結果により勉強会等を実施している。

## 小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

美容科においては必須科目として実務実習を全員実施している。BS科についてはインターンシップの受け入れ先が少なく、一部のコースに限り、アルバイト形式のインターンシップに参加している。

## 小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

全学科でGCBの授業を実施しており、美容科では運営管理、BS科ではビューティーコーディネートの授業を通じて職業観を育む授業を実施している。

## 小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

入学時に基礎学力試験を実施しているが、入学前、入学後に基礎学力を補う教育の実施はしていない。ただし学期末試験等の再試験対象者に対しては勉強会などを実施し学力向上を支援している。

### 基準 3 教育の実施体制

#### 項目総括

教員採用については明確な基準を定めていない。また産休等で常勤教員の担当授業が増加している。教育環境については整っているものの定期的な点検、修繕が不十分なところがある。

#### 主な課題及び改善の方向性

今年度中に本部人事との確認を取りながら教員採用基準を定め、教育環境の改善に向けて備品や設備の定期的な点検が実施できるよう各学期末に教室管理担当者からの報告を義務づけるようにする。

#### 中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教員の採用基準の文書化まではできていない、また教員の産休に伴い常勤教員の授業担当時間数が増加し適正な運営体制が取りにくくなっている。

#### 小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

#### 小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

人員数は要件を満たしているものの、産休中の教員もあり、常勤教員の担当授業コマ数は非常に多くなっている。

#### 小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年に3回講師会を開催し、情報交換を行うとともに非常勤講師の控室を教務室内に設け、日常的な情報共有を図りやすくしている。

#### 中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災、防犯の設備等については業者に依存しており、教員への周知ができていない。また設備や備品の管理や修繕に関しては定期的な点検まではできていない。

#### 小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

図書室は整備し、専門図書や業界誌を自由に閲覧できる環境を用意している。

#### 小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・就職支援を行うための資料を備えたライブラリを設置している。 就職担当者 2 名在籍。
- ・ライブラリと教務室が同じフロアにあり、相談の行きやすい環境。 休み時間、放課後、長期休暇時も学生が活用している。

## 小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学外における実務実習については安全対策の依頼を実習先に文書で行っているが、安全管理における規定等は文書化されていない。

## 小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

防災、防犯設備等の点検は管理業者により適切に実施している。使用方法の周知については理解不足の面がある。

## 小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

設備や備品の管理、点検については担当科目教員を中心に行なっているが、不良個所の修繕ができていない場所もある。

## 小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

## 項目総括

各学科共に教育目的や育成人財像については確立し、それに伴う各種目標設定、評価、検証、報告は概ね実施している。

## 主な課題及び改善の方向性

各種目標の達成度を更に向上させるべく、教育活動を強化する。

## 中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教科の評価・目標の設定、国家試験・検定・コンペ、就職、卒業率についての目標設定、検証や報告を実施しているが全ての数値の公表までは実施していない。

## 小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

評価基準は定め、適正に評価している。定期試験等の結果をもとに学習指導方法の検討などを実施している。

## 小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国家試験等の合格目標を設定し、結果の検証、教育方法の見直しや検討を実施している。

## 小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各種検定やコンテストの目標設定はできているが、進捗状況の管理が徹底できていなかったため、新たに進捗管理のシートを作成し共有できるようにした。また一部の検定やコンテスト結果はHPなどで公表している。

## 小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

- ・求人件数・求人者数や就職内定の目標を設定している。
- ・就職先のランク(S・A)目標を設定している。
- ・就職目標を教職員で共有し理解している。
- ・受験報告書など学生の就職活動の記録を作成。
- ・就職部会、日々の業務内で学生面談情報の共有を図っている。
- ・印刷物や Web サイト等に就職実績を公表している。
- ・学生向けのセミナーを年度毎に提案している。

## 小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学年全体で退学防止を目指す観点からクラス別目標設定ではなく、学年目標設定としている。退学に関する情報は学内で共有し、高校などへの報告も実施している。

## 小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・塾システム内の卒業生データの定期的なメンテナンス
- ・進路決定届出書の管理徹底
- ・印刷物や Web サイト・掲示等での内定状況、卒業生紹介

## 小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の 1 年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・企業訪問を行い卒業生の就業状況を随時確認している
- ・確認した内容については麻生塾システムに繁栄
- ・福岡キャンパスと連動した卒業生アンケートの実施、共有

=====

## 基準 5 学生支援

=====

### 項目総括

全体的に学生支援は、的確に実施している。今後は、効果的に活用される制度作りの推進が必要である。

### 主な課題及び改善の方向性

効果的に活用される制度作り。

### 中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

組織的に的確に支援を行っている。関連部門との共有化も行われている。

### 小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・担任による学生の面談を定期的かつ必要に応じて実施。
- ・学生がスムーズな学校生活を行なえるようフォローしている。
- ・担任は面談記録を作成し、管理者が閲覧し、指導できる状況にしている。
- ・今後は面談の適正性も計る必要がある。

### 小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・CDA有資格者が1名在籍。
- ・別途グループ内のキャリアカウンセラーと連携した研修も実施

### 小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

- ・現在スクールカウンセラーが月2回来校。学生の対応を行なっている。
- ・面談記録については福岡キャンパスにて分析。
- ・今後は面談結果が学生指導に効果的に活用される制度作りを行なう。

### 小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・学内にハラスメント委員会を設置している。
- ・グループ校担当者との研修会に年間3～4回参加。
- ・麻生塾内に人権委員があり、相談が出来る状況。

### 小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・入学前、入学後に保護者会を実施している。
- ・就職に関する3者面談を実施している。
- ・別途県外学生に対して個別面談を実施。
- ・問題が生じたとき組織的な対応を実施している。
- ・面談内容を時系列に記録している。
- ・必要に応じて、関連する他部門に報告し共有している。

### 小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校独自の学費減免制度がある。また学外の奨学金制度も採用している。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・留学生、社会人学生、障がい者の受入を行なっている。
- ・留学生については就職課と国際交流センターにて対応。
- ・業界の特性から就職不可能もしくは難航する分野もある。  
(日本の法に課題を抱えている側面がある)
- ・担任と就職課において密な情報共有を行なっている。

小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

直営の学生寮を有している。その他にも、民間業者との提携寮も有している。また学生が安心して部屋を探すために、相談等が出来る窓口を設けている。

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

- ・授業以外の課外活動に対する人的・財政的な支援を行なっている。
- ・課外活動に対する支援規程がある。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業後の就職斡旋、就職先への訪問等、卒業生に対しての支援も十分に行っている。卒業生の組織である校友会においては、年々参加者が減り、活性化の対策が必要である。

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

2年に1回校友会を実施している。近年参加者数が減っており、対策が必要。

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

随時卒業生の就職斡旋を行なっている。HP上にてPR及び求人情報を掲示。近年利用者数が減少。認知を高める施策が必要。

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職課職員が定期的に卒業生の在籍する企業へ訪問している。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

更なる認知度の強化が必要である。

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職担当者の卒業生訪問ブログを定期的に更新している

## 小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ブログを活用し、授業、行事、就職、卒業後の状況を発信している。

## 小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ブログにて検定合格状況を発信している。今後はカテゴリに「検定」を設けるなど露出を高める必要あり。

## 小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ホームページに「企業の皆様へ」ページを設置し、情報を公開。求人依頼も同ページより行なえる様にしている。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

## 項目総括

学校の情報(学生の受け入れ方針、学費、募集要件、教育内容、資格・就職実績等)がホームページや募集要項などに明示している。

内容についても分かり易い記載がなされ、定期的な見直しも行なっている。

## 主な課題及び改善の方向性

学科ごとの入学定員に対する入学者数比率が低い状況。

未充足者については施策を講じているが苦戦を強いられている状況。

## 中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

適正な学生募集活動を行い、公正かつ適切な入学選考を行っている。

## 小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

アドミッションポリシーが募集要項に明示している。学校の教育理念に基づいた内容になっているが、露出が少ない状況にある。

## 小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育理念・目的等が印刷物や Web サイト等で明示している。取得予定資格・検定、参加予定コンテストが印刷物や Web サイト等で明示している。上記の説明は全教職員にて共有している。

## 小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学費・教材費等は印刷物や Web サイト等で明示している。(学費のみではなく、修学期間にかかる納入金は全て明示している。)

## 小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

選抜方法は印刷物や Web サイト等で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施している。入学者選考の実施方法や選考基準について、定期的かつ適切に検証している。上記は全教職員に共有している。

## 小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生募集のパンフレットや Web サイトで、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍などの教育成果を正確に伝えている。

## 小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学科ごとの入学定員に対する入学者数比率が低い状況。未充足者については施策を講じているが苦戦している状況。美容科より9名、ビューティースペシャリスト科より7名が退学。入学定員については定期的に見直している。

## 基準 7 社会的活動

## 項目総括

概ね計画的・組織的に活動を推進している。

・企業・行政・地域等との連携を進めるに当たっては、必要な規定や方針等を見直す必要があり、企業や行政と連携した教育プログラムの開発、また、各学科の教育現場のコンセンサスを得ることも必要であると思料する。

## 主な課題及び改善の方向性

・無料・生涯講座については、さらに積極的な関わりが持てるよう、公開講座の数を増やすなどの対応が望まれる。

・ボランティア活動の実績があったことに対して、評価する方法を検討する必要がある。学生のボランティア活動については、全校的な活動の奨励、支援、記録が必要である。

## 中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

・概ね計画的・組織的に活動を推進している。

・企業・行政・地域等との連携を進めるに当たっては、必要な規定や方針等を見直す必要があり、企業や行政と連携した教育プログラムの開発、また、各学科の教育現場のコンセンサスを得ることも必要であると思料する。

## 小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

社会的活動において、全校的な活動の奨励、支援を推進している。

## 小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

団体に加盟して、学校として組織的に業界の動向および情報を入手している。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現時点では現在実施に至っていない。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

・高等学校内での職業理解のためのガイダンスや模擬授業体験のガイダンスに参加し、また高校生により理解し易いプログラムとできるように、参加者の反応を見て、常に見直しを行っている。また麻生塾主催のお仕事スタジアムへの参加においても、職業理解の推進に努めている。

基準 8 管理運営

項目総括

管理責任体制を明確化し、適切な運営管理に努めている。

主な課題及び改善の方向性

- ・大規模災害や火災に対する「防災組織」、「緊急時対応マニュアル」、「緊急連絡網(教職員・学生)」を今一度整備し、見直しが必要である。
- ・新人教員への指導体制や FD 研修会、外部の学会や研修会での学びが計画的に実施。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育活動を支援するための運営と、その業務を効果的に行うため SD また職員のプライバシー、モラル対策、学校の施設設備等の管理、防犯、防災対策等を行っている。

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

主要な運営会議を定期的に行い、また計画事案別会議やプロジェクトミーティング等も必要に応じて開催し、有機的に機能するようにしている。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担当業務により細分化した校務分掌を置き、運営責任を明確化している。

## 小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

## 小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

## 小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

## 小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示まではいたっていない。

## 小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

## 小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

## 小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

・防災等に対応するため、消防計画及び災害時の対応マニュアルを整備し、緊急時の連絡体制や役割分担を明記している。  
・計画に対して、防災訓練等の活動は実施していない。

## 小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報については、各種情報の保護をとっており、学校全体の取組みとして「個人情報保護に対する基本方針」に基づき、部署、部門毎に漏れの無いように取り組んでいる。運用においてはまだ不十分な点がある。

## 小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止の体制整備については、ハラスメント防止委員会の開催、関連規程の周知、連絡窓口の明確化を進めるとともに、防止措置の強化とハラスメント発生時の手続きの明確化に取り組んでいる。防止委員会の委員の意識の統一と、事例に関する判断能力の向上を図っている。しかしながら、職員間において共有という点でまだ不十分な点もあり、今後図る必要がある。

## 小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

・本校職員としての資質の向上と職務遂行能力の向上を目的として職員研修制度に参加している。  
・組織的また個人別に計画的に行われてはいない。

## 基準 9 財務

### 項目総括

- ・収支状況については月次において把握している。更により効率的な運用を図る必要がある。
- ・単年度での支出超過の状況を脱し、健全化する方向へ向かう必要がある。

### 主な課題及び改善の方向性

単年度収支の改善に向けた今後の一層の取組の強化が望まれる。定員充足率の減少傾向に的確に対応するためにも、長期的な入学者数の予測や事業計画との整合性のとれた実効性のある中期計画を策定し、実行していく。

### 中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

- ・収支状況については月次において把握している。更により効率的な運用を図る必要がある。
- ・単年度での支出超過の状況を脱し、健全化する方向へ向かう必要がある。

### 小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

- ・予算は年度毎に策定し、管理運営している。
- ・中期計画は策定されていない。経理グループと相談。

### 小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・月次および中間決算により予算と実績の正確な管理をしている。
- ・予定外の事態により予算超過の恐れがある場合は、稟議書等による措置を行っている。

### 小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

### 小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

### 小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理されている。

### 小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題。

=====

**基準 10 改革・改善**

=====

**項目総括**

自己点検、改善活動は毎年適切に実施している。また、改善フォローも行なわれている。しかしながら全教職員で共有するまでいたっていない。

**主な課題及び改善の方向性**

教職員会議で、改善活動の内容を共有し、全教職員で改善を図る。

=====

**中項目 10-1**

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検、改善活動は毎年適切に実施している。また、改善フォローも行なっている。しかしながら全教職員で共有するまでいたっていないので、今年度は教職員会議で共有を図る。

-----

**小項目 10-1-1**

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適切に自己点検活動を行なっている。内容については、部門責任者にて協議を行なっている。ただし、教職員を中心にした活動までは至っていない。

**小項目 10-1-2**

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

責任者クラスでの共有にとどまっている。今年度より全教職員で共有。（教職員会議）

**小項目 10-1-3**

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

自己点検の結果を踏まえ、改善活動を行なっている。

**小項目 10-1-4**

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ホームページ上に掲載している。